



## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,380	1.7	443	69.9	427	67.4	313	0.8
2024年3月期第1四半期	7,256	4.8	260		255	9.9	311	577.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 321百万円 (1.1%) 2024年3月期第1四半期 318百万円 (509.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	135.81	
2024年3月期第1四半期	145.58	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,006	7,157	32.5
2024年3月期	22,232	6,836	30.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,157百万円 2024年3月期 6,836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,908	0.7	524	7.4	489	6.1	320	37.4	138.57
通期	30,265	0.0	1,267	13.5	1,200	8.2	761	21.3	329.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,311,434 株	2024年3月期	2,311,434 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,126 株	2024年3月期	2,126 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	2,309,308 株	2024年3月期1Q	2,137,615 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢のなかで、円安の進行、物価の上昇等が続き、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価高が沈静化する兆しが見えないなか消費者の節約意識はなお強く、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持し、さらなる品質向上のため、日々努力を続けております。コロナ禍を経て、そして長期化する物価高の影響で、消費者の意識・行動が大きく変化しているなか、お客様に選んでいただける価値ある店づくりのため、新商品開発や既存メニューのブラッシュアップ、店舗改装、DX推進等の取り組みを進めてまいりました。

店舗の展開については、引き続きグループ内での業態の見直しによる活性化を進めており、当四半期においても、焼肉店からステーキ店やしゃぶしゃぶ店への業態転換を2店舗実施しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高73億80百万円（対前年同期比1.7%増）、営業利益4億43百万円（対前年同期比69.9%増）、経常利益4億27百万円（対前年同期比67.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億13百万円（対前年同期比0.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は165店舗であります。内訳は直営113店舗、暖簾15店舗、FC37店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、主力商品「ファミリーカルビ」について店舗厨房でのスライス加工を開始する等さらなる美味しさUPを図っており、SNSでの投稿キャンペーン企画等を通し、認知やイメージの向上の取り組みも進めました。また、夏季に向けて「夏の気分So-kai（爽快）焼肉フェア」開催、各月の「肉の日」における「スペシャルなぞボン」企画等、集客を目的とした施策を積極的に展開してまいりました。「七輪房」では、GW期間の「厳選人気部位盛り合わせ」の販売、安楽亭との共同企画である、松阪牛、佐賀牛、宮崎牛等銘柄和牛の期間限定販売等、プレミアム感を重視した多様なメニュー企画を展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は28億4百万円（対前年同期比5.1%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億3百万円（対前年同期比438.2%増）となりました。

#### ② アークミール業態

アークミール業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は130店舗であります。内訳は直営128店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「母の日記念 梅みぞれ芳醇国産牛ステーキ」、しゃぶしゃぶどん亭の「痺れる辛さ 夏のやみつきラム火鍋」の販売、フォルクスの「父の日 トッピング無料クーポン」の配信等、季節感やプレミアム感を打ち出した多様な企画によって来店促進を図りました。

以上の結果、アークミール業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は44億63百万円（対前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3億22百万円（対前年同期比1.1%減）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億12百万円（対前年同期比14.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2億26百万円減少し、220億6百万円となりました。これは、売掛金の減少、繰延税金資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ5億47百万円減少し、148億48百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加し、71億57百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,165,640	5,119,261
売掛金	1,469,292	1,194,933
商品及び製品	601,254	589,737
仕掛品	8,448	5,462
原材料及び貯蔵品	744,389	885,743
前払費用	321,065	344,881
その他	42,110	46,843
貸倒引当金	△3,630	△3,630
流動資産合計	8,348,572	8,183,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,848,463	2,886,674
機械装置及び運搬具(純額)	42,141	56,634
工具、器具及び備品(純額)	533,014	556,953
土地	6,080,942	6,080,942
リース資産(純額)	73,112	66,459
建設仮勘定	24,934	21,226
有形固定資産合計	9,602,609	9,668,892
無形固定資産		
530,560	530,560	539,838
投資その他の資産		
投資有価証券	182,826	188,747
長期貸付金	3,247	3,150
長期前払費用	69,424	65,529
繰延税金資産	471,668	401,611
敷金及び保証金	3,019,434	2,951,260
その他	27,500	27,445
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,750,788	3,614,430
固定資産合計	13,883,958	13,823,160
資産合計	22,232,531	22,006,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,926	960,149
短期借入金	1,734,000	1,734,000
1年内返済予定の長期借入金	1,574,815	1,462,050
リース債務	32,511	32,160
割賦未払金	303,807	316,839
未払金	356,025	377,017
設備関係未払金	49,642	45,392
未払費用	840,672	872,942
未払法人税等	317,844	111,080
未払消費税等	377,804	308,825
賞与引当金	155,300	153,140
資産除去債務	14,500	4,620
その他	463,251	381,810
流動負債合計	7,304,098	6,760,027
固定負債		
長期借入金	6,090,171	6,058,669
リース債務	117,892	109,953
長期割賦未払金	626,297	675,986
繰延税金負債	109,921	109,467
役員退職慰労引当金	155,397	158,654
退職給付に係る負債	413,266	408,501
資産除去債務	343,528	342,729
その他	235,472	224,484
固定負債合計	8,091,948	8,088,445
負債合計	15,396,047	14,848,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	3,080,174	1,166,680
利益剰余金	△84,475	2,142,634
自己株式	△12,635	△12,635
株主資本合計	6,773,524	7,087,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,819	53,488
為替換算調整勘定	14,284	16,650
退職給付に係る調整累計額	854	640
その他の包括利益累計額合計	62,959	70,779
純資産合計	6,836,483	7,157,920
負債純資産合計	22,232,531	22,006,393

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	7,256,427	7,380,696
売上原価	2,740,949	2,727,898
売上総利益	4,515,477	4,652,797
販売費及び一般管理費	4,254,562	4,209,481
営業利益	260,915	443,316
営業外収益		
受取利息	339	286
受取配当金	1,815	2,205
受取地代家賃	12,194	13,210
その他	12,015	5,845
営業外収益合計	26,365	21,548
営業外費用		
支払利息	29,390	31,289
賃貸収入原価	1,635	3,077
その他	723	2,634
営業外費用合計	31,749	37,002
経常利益	255,532	427,861
特別利益		
固定資産売却益	—	809
受取保険金	2,376	—
受取補償金	100,000	57,000
特別利益合計	102,376	57,809
特別損失		
固定資産除却損	2,481	2,483
減損損失	8,801	—
賃貸借契約解約損	3,025	10,022
特別損失合計	14,308	12,506
税金等調整前四半期純利益	343,601	473,165
法人税、住民税及び事業税	65,236	90,091
法人税等調整額	△32,839	69,457
法人税等合計	32,396	159,548
四半期純利益	311,204	313,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	311,204	313,616



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	311,204	313,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,526	5,668
為替換算調整勘定	4,409	2,365
退職給付に係る調整額	△58	△213
その他の包括利益合計	6,877	7,820
四半期包括利益	318,081	321,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,081	321,436

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
外部顧客への 売上高	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,953,776	4,171,197	131,453	7,256,427	7,256,427	—	7,256,427
セグメント利益 又は損失(△)	37,769	326,167	△5,220	358,717	358,717	△97,801	260,915

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては8,801千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
外部顧客への 売上高	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,804,381	4,463,636	112,678	7,380,696	7,380,696	—	7,380,696
セグメント利益	203,272	322,461	11,415	537,149	537,149	△93,833	443,316

- (注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	172,718千円	174,865千円
のれんの償却額	3,033千円	一千円